

国際交流ひろば



日本の韓国ブーム1 韓国は日本人にとって 第一の旅行地

アンニョンハセヨ！鳥取市国際交流員の張日榮です。最近、日本では韓国ブームが巻き起こっています。「でも、鳥取はまだじゃない？」と思うみなさんもおられるかも知れません。しかし、今年、米子 ソウル定期便が就航。いよいよ鳥取でも本格的に韓国ブームが到来しそうです。では、そのブームというのは一体何でしょうか。今回から日本で起きている韓国ブームについて紹介したいと思います。

日本人観光客は 二百四十七万人

二〇〇〇年、韓国を訪問した外国人観光客の数が史上初めて五百万人を突破、五百三十二万人にもなりました。このような韓国観光ブームを引っ張ったのは日本人の観光客でした。韓国観光公社によると、昨年、韓国を訪れた外国人観光客の中で、日本人は四八・三%、二百四十七万二千五十四人でした。一九九九年以降、韓国はハワイを越え、日本人の海外旅行地の第一位になりました（ただし、ハワ

イとアメリカ本土を合わせたアメリカ全体の一九九八年の日本人観光客は四百八十四万人で、不動の一位です。韓国の観光を総括する文化観光省は、今年訪韓する日本人の観光客数は二百七十万人におよぶと見込んでいるそうです。

一方で、韓国人にとっても日本は第一位の海外旅行地になっています。昨年の場合、韓国を出国した二四・三%が日本へ行ききました。日本を訪れる韓国人旅行客数は、いわゆる「IMF事態」と呼ばれる経済危機に見舞われた一九九八年に八十二万

人に激減しましたが、その後は毎年増加を続け、昨年は百万人を記録しました。このままで行けば、二十一世紀元年の今年には、同時に日韓交流400万時代の元年になると予想されています。訪韓する日本人観光客は一九九八年以降、三年連続一〇%以上の高い増加率を記録してきたからです。

眠らない街ソウル

来年二〇〇二年には日韓共催によるワールドカップサッカー大会が開催されるため、日韓の

交流人口は大幅な増加が予想されています。こうした交流の拡大は、二十一世紀の両国の友好親善をますます深めることとなるでしょう。韓国を訪問した経験を持つある日本人に、「ソウルで一番印象的なものは何でしたか。」と聞いたら、「深夜、東大門市場に行った時、ソウルの人たちは夜も眠らないのかと思っただ。それぐらい活気があるソウルの街が気に入った。深夜にショッピング、食事もできるのは、地球上で多分ソウルしかないと思う。」と答えたそうです。では、なぜ大勢の日本人が韓国を訪れるのでしょうか。次回も韓国ブームの現象を紹介したいと思います。

